

# 長崎高教組 第216回 定期中央委員会 組合の存在のありがたさを再確認し、 「声かけ」から「対話」を、 「明るく、気軽に、そして気長に」続けていきましょう。



発行  
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
長崎県高等学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集主任 小田 誠  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む  
メールアドレス  
naga-kks@fsinet.or.jp



若い人に組合の話しをする、「組合の人、ガンバって下さい」と、他人事の言葉が返ってきてあきれてしまう。どうや



井野口 中央委員 (佐世保商業)  
「組合の人、ガンバって下さい」と、他人事の言葉が返ってきてあきれてしまう。どうや



佐藤中央委員 (佐世保東翔)  
支部総会で、新加入者の組合費補助を決めた。年度末に向けて、「3月までに加入した人は来年度1年間組合員免除」の

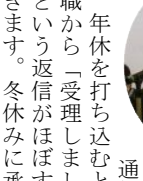
## 組織強化・拡大、職場活動

第1号議案を中心とする討論の後、議案の採決が行われ、4つ議案がすべて採決されました。以下、第1号議案に関する討論の概要を紹介し



井野口中中央委員 (虹の原対馬分教室)  
分教室の場合、生徒が登校する日としない日、休憩時間が変わります。

田中中央委員 (虹の原対馬分教室)  
分教室の場合、生徒が登校する日としない日、休憩時間が変わります。



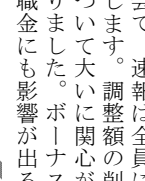
鈴木中央委員 (鳴滝通信)  
年休を打ち込むと管理職から「受理しました」という返信がほぼほぼときます。冬休みに承認研



深松中央委員 (長崎鶴洋)  
出勤簿の電子化が始まって、教頭から「年休を書き込んだら一言かけて



原対馬分教室委員 (虹)  
7人の職場で、1人分会で、速報は全員に配布します。調整額の削減について大いに心が集まりました。ボーナスや退職金にも影響が出ること



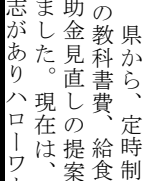
田中中央委員 (虹)  
に怒りの声が高まりました。夏季休暇より、給料を下げないでほしいというのがみんなの声でした。前籍校がゼロ分会になりました。今回の調整額削減について、全く知らなかったという事で、ゼロ分会になるという事は、こういうことなんだなと思



井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。

## 生活上・権利の拡大

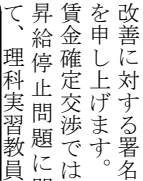
本部分執行委員 採用試験二次対策の模倣授業や面接練習に参加した16人のうち8人が合格しました。各職場でぜひ声をかけてください。実習教員採用試験の対策学習会は、2月と3月に開催します。申込みを急いでください。



井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。



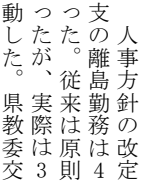
島津中央委員 (佐世保工業)  
格付け年齢を54歳から52歳に引き下げる回答を引きました。組合の大切さを感じました。



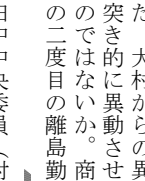
田中中央委員 (対馬分)  
人事方針の改定で、特支の離島勤務は4年となった。従来は原則6年だったが、実際は3年で異動した。県教委交渉で、



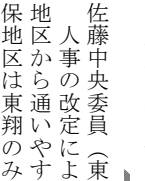
井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。



井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。



井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。



井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。

井野口中中央委員 (佐商)  
STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」と教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当ては考えられないか。

## 民主教育の確立のとりくみ

求職登録を行っていただければ補助がなされています。仕事をしづらいうれいグレンジの生徒が増え、働くことが困難な生徒が増えています。定時制通信制で学ぶ生徒たちの攻撃です。現場の声を集めて、押し返しましょう。



現場の声を集めて、押し返しましょう。

### 平和・民主主義・国民的課題

井野口中中央委員(佐商) 先には、戦争があります。年末の解散総選挙、投票率の低さに愕然として、大切なとりくみだとあらためて思います。

大村市中中央委員(佐商) 先には、戦争があります。年末の解散総選挙、投票率の低さに愕然として、大切なとりくみだとあらためて思います。

本部 寺田書記次長 数研の社会科教科書の従軍慰安婦の記述に変化がありました。教科書の一発検定ではねられないよう教科書会社の自主規制、萎縮が始まったといえます。生徒に真実を伝え、健全な成長を保障するよう取り組むことが必要です。

今春の統一地方選で安倍教育再生に賛成の首長が増えたら、育鵬社の教科書が増えます。統一地方選で、よく見て判断して、投票することが必要になってきます。

### 総括討論

田中中央委員(対馬分) ゼロ分会が特支にはいくつもあります。組合員がいないことで、人事方針の改定の事前情報が入らなかつたと聞きました。組合を辞めた先生から問い合わせがあり、悩んだけれど情報を伝えました。感謝されましたが、複雑な思いです。



井川中央委員(諫早 商業) 義理と人情で組合に入し、そして義理と人情で分会の仕事をしている。組合加入のメリットは感じていない。必要だから入っている。組合に入ると負担もあるが、楽しくやっています。管理職も追い詰められている。組合に入った事がなく、組合を知らない管理職が増えた。見極め、是々非々で対応する事が大事だと思ふ。

深松中央委員(長崎鶴津) 賃金交渉の速報を配布したとき、「休みより給料を上げて欲しい」という声の一方で「夏季休暇が5日になったのはすごい。組合のおかげ」とい

佐藤中央委員(東翔) 組合活動の活性化について、組合はつながりが大切なので、ネットの活用を模索してはどうか。昼休み、中央委員会の様

子が高教組のブログにアップされていた。若い人へのアピール、若い人を取り込むためにも、大いに活用したらどうか。



近藤中央委員(島原 商業) スマホの利用で生徒が事件に巻き込まれる事例が多発しており、ネット活用について注意が必要だ。スマホやネットにはまると学力が低下する。上手く活用する力量があれば問題は少ないが、実際には多くの問題が起きてきている。今の環境が子どもたちにとっていいのか疑問。利便性や営利ではなく、そこにある危険性に気づき、行動する教育が必要だ。

鈴木中央委員(鳴滝通信) 「イスラム国」人質事件について若い人たちが中心とするネット投票で、1円も払うなが8割強。ネットでは偏った情報がある。国の責務に国民を守ることが当たり前だった時代から変わる票で、1円も払うなが8割強。ネットでは偏った情報がある。国の責務に国民を守ることが当たり前だった時代から変わる

割強。ネットでは偏った情報がある。国の責務に国民を守ることが当たり前だった時代から変わる票で、1円も払うなが8割強。ネットでは偏った情報がある。国の責務に国民を守ることが当たり前だった時代から変わる

### 現業員金交渉

#### 10%を超える大幅下げの県教委提案に 学校現場から大幅賃下げ絶対反対の声

高教組は、1月13日に第4回、1月22日に第5回の現業員金交渉を行いました。第4回交渉で県教委は、12月25日に提案した新給料表を修正し、引き下げ率を若干緩和しましたが、それでも平均10%を超える賃下げ提案(詳細は別掲)でした。高教組は、他職と比べて賃下げ幅が大きすぎ、その分、退職金も大幅減となることに何の考慮もないこと等(詳細は別掲)を厳しく批判し、再度の修正を強く求めました。これを受けた第5回交渉で県教委は、経過措置の緩和や、退職金についての経過措置などを検討していることを明らかにしましたが、具体的な提案は行いませんでした。高教組は、現場の現業員から寄せられた意見を県教委に示し、当事者となる現業員の声にこたえることを強く求めました。第6回交渉の日程は未定です。

#### 「差別的扱いだ」等の現業員怒りの声

#### 58分会の緊急団体署名を県教委に提出

高教組は、交渉と並行しながら、学校現場の全ての現業員に「現業員金交渉速報」を郵送して、交渉経過を伝えるとともに、「高教組への意見集約を呼びかけました。また、全ての分会に対して、現業員に対する大幅賃下げの撤回を求める緊急団体署名を要請しました。

その結果、「大幅賃下げは現業員にとって差別です」「現業員をいじめているのではないかな」等の怒りの声と、「住宅ローンもたくさん残っていて困ります」「退職後の生活設計に切実な問題が生じます」等の痛切な声が現業員から数多く寄せられました。これらの声を、交渉の場や文書で県教委に示すとともに、58分会から集約された緊急団体署名を県教委に提出して、現場の教職員の声にこたえることを求めています。



釣船中央委員(島 原工業) 開くことだが、エネルギーが足りない。分会長は、楽しみながやりたくない。組合の活動の中に、レクレーションの要素を入れた。新規加入した若い仲間にも活動する機会を増やし、楽しんでもらえるものにした。

先日職場集会を開いた。分会長、支部役員立候補者が決まらず、先送りになった。分会長としての一番の仕事は職場集会を

のべ21人(本部をのぞく)の発言がありました。組織拡大の具体的なとりくみについての発言が少なかった印象がありますが、組合の存在意義・役割にかかわる発言がかなりありました。本中央委員会で提起された「組織建設3か年計画」についての組織的な議論の中で深めながら、具体的なとりくみの計画を練り上げていく必要があります。

<別掲1> 1月13日提示の修正提案の内容	
12月25日の提案	1月13日の修正案
平均引き下げ率...11.4%	10.4%
引き下げ率の最高...11.5%	10.48%
引き下げ額の最高...44,000円	40,200円

- <別掲2> 県教委提案の問題点
- ① 同時期に行われる非現業員の「給与制度の総合的見直し」による賃下げが平均2%であるのに対して平均10%を超える賃下げ幅の大きさ
  - ② 非現業員には現給保障があるのに、現業員にはなく、4年間で4分の1ずつ(1万円前後)減額する経過措置
  - ③ 新給料表がそのまま適用されれば、多くの人が150万円前後となる退職金の減額

### 養護教諭SOS

1月24日、養護教諭専門委員会は、大村市中央公民館(コミュニケーションセンター)で、恒例の「養護教諭のつどい」を開催し、9人(未組合員3人)の参加がありました。

午前中は、「みんなのお仕事見てみたい」と題して、各学校における養護教諭の「仕事」についての情報交換を行いました。今年は特に労働安全衛生委員会の活動を中心テーマとし、各学校から集約したアンケート結果や他県の状況などについて、パワーポイントも使って報告がありました。参加者からも活発な意見が出されました。

午後は、長崎短期大学の中野明人教授を講師に招いて「危機管理において養護教諭に求められるもの」というテーマで講演をしていただきました。講演では、佐世保の小学校・スポーツクラブ・高校等で起こった事件からの学んだ危機時の心の理解と対応について、事件発生から2・3日後まで、1週間、1ヶ月など時間の経過に沿って具体的に示してもらいました。また、カウンセラーとして実際の場面での心がけたことや、養護教諭に求められるものなど、多くのことを学ぶことができました。参加者からも「自分自身でも示された事例に似たような出来事があったので、流れを確認しておくことは大切だ」と思いました。また、先生方の体験談も聞くことができて、共有できたのでよかったです。「これから座談会という感じの時に終わりになって名残惜しかったです。タイムリーな内容でした。等」等の感想が寄せられました。

1日がとても短く感じられるような有意義な会になり、帰りの駐車場でも、1時間近く話が弾みました。



養護教諭のつどい

### 中国・四国・九州ブロック

職場活動活性化、組織拡大強化ブロック交流集会在が開かれ、長崎からは4人が参加しました。全教北九州、香川、高知から職場活動の活性化、青年主体の組織活動を中心とした報告がありました。また、分代会では各県の組織強化・拡大のとりくみを学ぶことができ、大いに勉強になると同時に、春からの「長崎高教組組織建設3か年計画」策定の参考になりました。

1月25日、広島県福山市で全教主催の交流集会在が開かれ、長崎からは4人が参加しました。全教北九州、香川、高知から職場活動の活性化、青年主体の組織活動を中心とした報告がありました。また、分代会では各県の組織強化・拡大のとりくみを学ぶことができ、大いに勉強になると同時に、春からの「長崎高教組組織建設3か年計画」策定の参考になりました。